

総合政策部交通政策課

1 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

ア 日ノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額（単位；円）
生 活 路 線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	7	5 7， 7 2 9， 6 7 3
		県補助対象路線（広 域 路 線）	6	2 0， 0 4 1， 6 5 4
		単市補助対象路線（市内完結路線）	1 1	3 5， 9 4 9， 2 6 0
合 計			2 4	1 1 3， 7 2 0， 5 8 7

イ 日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額（単位；円）
生 活 路 線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	1	6 7 8， 0 5 9
		県補助対象路線（広 域 路 線）	9	6 0， 1 5 0， 3 3 3
		単市補助対象路線（市内完結路線）	1 0	4 0， 9 6 7， 9 1 7
合 計			2 0	1 0 1， 7 9 6， 3 0 9

(2) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）

〈だんだんコースの運行〉

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、高島屋・公会堂前など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ル ー ト 【だんだんコース・主な停留所】米子駅→大学病院→メガドンキホーテ前→循環天満屋前→ふれあいの里→高島屋・公会堂前→米子駅での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便

ウ 使用車両 小型バス2台

エ 停 留 所 30か所

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定 期 券 中学生以上1か月4,500円／3か月13,500円

小学生1か月3,000円／3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円／3か月4,500円

回 数 券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額（22,925,110円）を市が負担した。

ク 利用者数 年間乗車人員84,713人

一日平均232.7人、一便平均11.5人（幼児を含む。）

〈歴史コース・まちなかコースの運行〉

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスを運行した。

ア ル ー ト	歴史コース（１周２６分）とまちなかコース（１周２４分）を交互に運行。 【歴史コース・主な停留所】米子駅→米子城前→大学病院→まちなか観光案内所入口→寺町通り→高島屋・公会堂前→米子駅 【まちなかコース・主な停留所】米子駅→西部総合事務所前→高島屋・公会堂前→大学病院→米子駅
イ 運行回数	平日１８便、土・日・祝日１６便
ウ 使用車両	小型バス１台
エ 停 留 所	２１か所（『内堀通りいしかわ前』→『マルイ久米店前』へ変更（令和８年３月１日））
オ 料 金	中学生以上１人１回１５０円、小学生１００円、障がい者等５０円、幼児無料
定 期 券	中学生以上１か月４，５００円／３か月１３，５００円 小学生１か月３，０００円／３か月９，０００円 障がい者等１か月１，５００円／３か月４，５００円
回 数 券	１５０円券１１枚綴り１，５００円 １００円券１１枚綴り１，０００円 ５０円券１１枚綴り５００円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上１回５０円割引
キ 運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行経費から運賃収入を控除した額（１２，９３５，６１６円）を市が負担し、運行した。
ク 利用者数	年間乗車人員２０，５５７人 一日平均５６．５人、一便平均３．３人（幼児を含む。）

(3) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替路線として、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

１１月２３日（日）・３０日（日）の２日間で観光コースの実証運行を行った。

ア ル ー ト	【主な停留所】便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオンモール日吉津等を巡回。
イ 運行回数	平日・土曜１０便、日曜・祝日運休
ウ 使用車両	マイクロバス（２９人乗り）１台、マイクロバス（２３人乗り）１台
エ 停 留 所	５７か所
オ 料 金	中学生以上１人１回１５０円、小学生１００円、障がい者等５０円、幼児無料
定 期 券	中学生以上１か月４，５００円 小学生１か月３，０００円 障がい者等１か月１，５００円
回 数 券	１５０円券１１枚綴り１，５００円 １００円券１１枚綴り１，０００円 ５０円券１１枚綴り５００円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上１回５０円割引
キ 運行方法	市が市町村運営有償運送にて、バス事業者に運行を委託し、運行経費（１１，５７５，０００円）を委託料として支払った。

ク 利用者数 年間乗車人員 8, 188 人
一日平均 27.7 人、一便平均 2.7 人（幼児を含む。）

(4) 弓浜地区巡回バス（愛称「よねぎーバス」）実証運行

弓浜地区における移動手段を確保するため、地区内の商業施設や病院等を結ぶコミュニティバスの実証運行（令和 6 年 10 月 1 日開始）を継続した。利用者の意見を踏まえ、10 月 20 日に一部ルート変更を実施した。

※令和 8 年 4 月 1 日より本格運行開始

ア ルート 【主な停留所】大篠津町駅前、和田小学校前、まるごう弓ヶ浜店、博愛病院、マックスバリュ河崎店前等を巡回（1 周 50 分。始発は富益団地、終着は富益南口）

イ 運行回数 平日・土曜 8 便、日曜・祝日運休

ウ 使用車両 ジャンボタクシー（9 人乗り）1 台

エ 停留所 47 か所

オ 料金 中学生以上 1 人 1 回 150 円、小学生 100 円、障がい者等 50 円、幼児無料
回数券 150 円券 11 枚綴り 1,500 円 100 円券 11 枚綴り 1,000 円
50 円券 11 枚綴り 500 円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上 1 回 50 円割引

キ 運行方法 市が市町村運営有償運送にて、タクシー事業者に運行を委託し、運行経費（21,153,300 円）を委託料として支払った。

ク 利用者数 年間乗車人員 4,299 人
一日平均 14.6 人、一便平均 1.8 人（幼児を含む。）

(5) 箕蚊屋地区巡回バス（愛称「みのりんバス」）実証運行

箕蚊屋地区における移動手段を確保するため、地区内の商業施設や病院等を結ぶコミュニティバスの実証運行を令和 7 年 10 月 20 日に開始した。

ア ルート 【主な停留所】米子医療センター、伯耆大山駅、緑ヶ丘（月・水・金）、福万（火・木・土）、尾高、壽城等を巡回（1 周 58 分。始発は下新印、終着は米子医療センター）

イ 運行回数 平日・土曜 8 便、日曜・祝日運休

ウ 使用車両 ワンボックスカー（5 人乗り＋車いす 2 台）1 台

エ 停留所 42 か所

オ 料金 中学生以上 1 人 1 回 150 円、小学生 100 円、障がい者等 50 円、幼児無料
回数券 150 円券 11 枚綴り 1,500 円 100 円券 11 枚綴り 1,000 円
50 円券 11 枚綴り 500 円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上 1 回 50 円割引

キ 運行方法 市が市町村運営有償運送にて、タクシー事業者に運行を委託し、運行経費（8,891,796 円）を委託料として支払った。

ク 利用者数 年間乗車人員 1,341 人（令和 7 年 10 月 20 日～令和 8 年 3 月 31 日）
一日平均 10.2 人、一便平均 1.3 人（幼児を含む。）

(6) 自動運転バスの実証運行

バス運行事業者の運転手不足に係る状況改善や交通事故の削減など、公共交通を取り巻く環境改善を図る

ため、レベル4自動運転バスの早期社会実装に向けた取り組みを進めることとし、この取り組みの一環として、自動運転バスの実証運行を令和7年12月22日に開始した。

ア ル ー ト 米子駅、鳥取大学医学部附属病院間の往復
(往路は市道久米町末広通り線、復路は県主要地方道米子停車場線を走行)

イ 運行期間 令和7年12月22日から令和8年2月27日まで

ウ 使用車両 WeRide 社製「Robobus」(11人乗り) 2台

エ 停 留 所 2か所

オ 料 金 無料

カ 利用者数 年間乗車人員1,820人

(7) ICカード決済端末の導入

鳥取県内のすべての路線バスへの交通系ICカード決済端末の導入に伴い、市町村負担金として39,369,000円支出した。

(8) その他バス路線負担金

米子市内に乗り入れている、安来市広域生活バス「イエローバス」の運行負担金として、安来市に対して1,631,000円支出した。

(9) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく米子市地域公共交通会議において審議した。

ア 構 成 学識経験者、事業者の組織する団体、バス事業者、鉄道事業者、道路管理者、住民又は利用者の代表、運転手を組織する団体、中国運輸局、警察、県職員、市職員、その他市長が認める者 計18名

イ 開 催 日 令和7年9月10日、令和7年10月22日(書面審査)、令和7年11月18日(書面審査)、令和8年2月5日、令和8年3月6日(書面審査)

(10) 高齢者バス運賃助成事業

高齢者のバス利用を支援するため、高齢者バス定期券「グランド70」の購入費用を助成。

ア 米子市に在住の満70歳以上の方に「グランド70」を半額の13,100円で販売する事業者に対し、定価(26,200円)との差額を助成。

実績件数 600件 交付金額 7,860,000円

イ 運転免許を自主返納してから1年以内の、米子市に在住の満70歳以上の方に「グランド70」を1,000円で販売する事業者に対し、定価(26,200円)との差額を助成。

実績件数 167件

交付金額 4,208,400円

(11) 高校生通学費助成事業

遠距離通学をする高校生等の保護者等に対し、1ヶ月あたりの通学費が7,000円を超えた額について支援を実施した。

実績件数 70件

交付金額 1,793,130円

(12) バス割引乗車券配布事業

バスの利用促進を目的として、米子市文化財団(米子文化ホール、米子市公会堂等)が催すイベントやフレイル対策推進事業等に参加された方に、市内を発着する日ノ丸自動車(株)と日本交通(株)が運行する

路線バスの割引乗車券を配布した。(おとな用は200円割引、こども用は100円割引)

配布枚数 1,369枚

使用枚数 おとな672枚 こども4枚

負担金額 143,200円

(13) バスでGO!運賃無料DAY

バス利用の習慣化につなげるため、米子市内を発着する路線バス及びだんだんバスの運賃を無料とする企画を実施した。なお、開催日については市民の利用定着を目的に6月から毎月第3日曜日の定期開催とした(3月のみ第4日曜日を含む2回開催)。

○実施日 令和7年6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、
12月21日、令和8年1月18日、2月15日、3月15日、3月22日

○利用実績 36,802名(11回分)

2 鉄道関係

- (1) 中国横断新幹線の整備を推進するため、「中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議」を通じて、広報・要望活動を行った。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) 山陰本線、福知山線の利用促進について「山陰本線・福知山線鉄道整備・利用促進協議会」を通じて要望活動を行った。
- (4) JR淀江駅舎及びトイレの改築工事に係る実施設計を行った。
- (5) JR淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

3 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 令和7年度の米子空港利用者数は、ANA羽田便が63.1万人となり、令和6年度の59.1万人を上回り、2年連続で過去最高を更新した。
- (3) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

ア 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

イ 新聞雑誌等によるPR

新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

ウ ANAへの要望活動

米子空港利用促進懇話会、鳥取県、境港市、鳥取市、鳥取空港の利用を促進する懇話会で連携し、米子-東京便の通年便化の継続、県内航空路線の多路線化などの要望活動を、令和7年10月28日に実施した。

4 交通全般

(1) 米子市公共交通機関時刻表「のりものガイド」発行

令和7年4月1日現在の米子市を発着する路線バス、高速バス、飛行機などの時刻をまとめた小冊子を、株式会社サイネックスと共同発行した。

発行部数 5, 850部

【主な配布先】米子市転入者、市役所施設内、日本交通米子駅前バスターミナル、一部のバス車内、各地区公民館、米子市観光センター等

(2) Y-M a a S事業

ア わいわいパス（米子地域バス乗り放題電子チケット）販売・運用

米子広域圏（米子市、安来市、境港市、西伯郡、日野郡）の路線バス、コミュニティバスの利用促進を目的として、スマホによる電子チケット販売・運用を行った。

(ア) 実施期間

令和7年4月1日から

(イ) 実施内容

路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）とコミュニティバス（米子市だんだんバス・どんぐりコロコロ、よねぎーバス、みのりんバス、安来市イエローバス）が1日乗り放題となる電子チケット（愛称「わいわいパス」）を販売し、運用した。

(ウ) 実施方法

日ノ丸自動車、日本交通、米子市、安来市の4者で米子地域M a a S協議会を設置し、RYDE株式会社のスマートフォンアプリ「RYDE P A S S」上で、販売、運用を行った。

(エ) 購入実績（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

○件数・人数

種類	合計
①米子広域1日券	214
②米子市内1日券	601
③だんだんバス1日券	55
④米子鬼太郎空港・米子駅連絡バス乗車券	401
⑤淀江観光1日券	3

(オ) 利用実績（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

	日ノ丸 自動車	日本交通	イエロー バス	だんだん バス	よねぎー バス	みのりん バス	どんぐり コロコロ	合計
①米子広域	511	282	41	40				874
②米子市内	1,270	571	2	97	1	2	1	1,944
③だんだん1日				198				198
④米子空港連絡	359							359
⑤淀江観光							8	8
合計	2,140	853	43	335	1	2	9	3,383

(3) よなご公共交通ふれあいフェスタの開催

公共交通とその利用促進をテーマとした「第4回よなご公共交通ふれあいフェスタ」を開催した。

(ア) 開催日

令和7年11月16日（日）

(イ) 会場

米子コンベンションセンターBIGSHIP

(ウ) 来場者数

約4,700人

5 米子市バリアフリー推進協議会の開催

「米子市バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況の評価、検討を目的とした「米子市バリアフリー推進協議会」を開催した。

開催日：令和8年2月25日